

地域情報

(一社) 熊本県野菜振興協会玉名支部

玉名地域のイチゴにおけるアザミウマ類の防除体系確立に向けて

県内有数の促成イチゴ産地である玉名地域は、近年、難防除害虫のアザミウマ類の対策として、物理的防除、化学的防除、生物的防除、耕種的防除を組み合わせた IPM 技術体系を検討しています。

野菜振興協会玉名支部では、令和5年度からこの課題に取り組んでおり、光反射防虫ネットとククメリスカブリダニ（天敵）を組み合わせた実証展示ほを設置してきました。これまでの調査結果から、ハウス内で越冬したアザミウマ類が春先の急増につながっている可能性や、ハウス周辺の雑草の有無でアザミウマ類の発生が大きく変わることが分かっています。そこで、令和6年度に設置した展示ほでは、防虫ネットや天敵資材に加えて、11月上旬（ビニル被覆直後）の農薬による防除の徹底や、害虫が0に近い状態での天敵放飼、ハウス周辺の防草シート設置等を組み合わせて、害虫の発生を大幅に減少し、4月末までの被害果数を抑えることができています。

今後も、地域のイチゴ生産者の方々が効果的にアザミウマ類防除に取り組めるよう、引き続き関係機関が一体となって支援を行っていきます。



関係機関との調査の様子



ククメリスカブリダニ（天敵）